

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

台風 25 号の航空機観測を実施しました

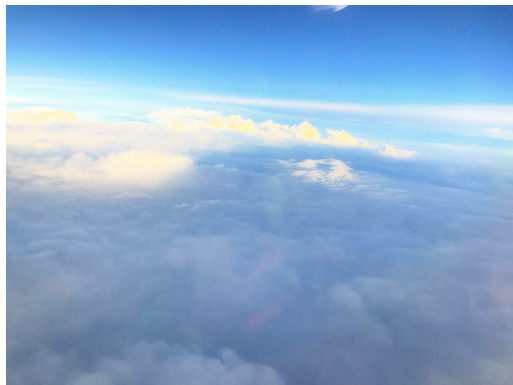
2050 年までの台風制御実現および台風の予測精度向上に向けて

横浜国立大学 台風科学技術研究センター（TRC）は、2026 年 9 月 18 日と 19 日の 2 日間、台風 25 号を対象に航空機観測を行い、観測機器（ドロップゾンデ）を投下して直接観測を行い、貴重なデータを得ました。

得られたデータは、「ムーンショット型研究開発目標」にも採択されている台風制御研究に不可欠であるとともに、気象庁を含む各国の気象機関に共有され、台風の予測精度向上や台風の内部構造解明に向けた研究にも役立てられます。

台風科学技術研究センター（以下、TRC）では、2026 年 9 月 18 日と 19 日の 2 日間、日本の南の海上を進んでいた大型の台風 25 号を対象に航空機観測を行い、ドロップゾンデと呼ばれる観測機器を 1 日あたり 38 個投下し、気温や湿度、気圧、風といった気象要素を直接観測しました。

TRC では現在、内閣府主導の大型研究プロジェクト「ムーンショット型研究開発目標」において採択された「安全で豊かな社会を目指す台風制御研究」を進めており、本観測で得られたデータは、台風制御に必要な過冷却水滴の分布を把握し、また制御の前提となる台風の内部構造の解明や予測精度の向上にも役立てられます。また、観測データは世界気象通信網（GTS）を通じ、日本の気象庁をはじめ世界各国の気象機関や研究者に共有されました。



高度約 14,000m の上空から見た
台風 25 号の眼周辺



観測に用いたガルフストリームIVと
搭乗メンバー

本件に関するお問い合わせ先

TEL: 045-339-3494

E-mail: trc-office@ynu.ac.jp

（研究に関すること）横浜国立大学 総合学術高等研究院 台風科学技術研究センター
筆保弘徳センター長

（取材に関すること）同センター 広報担当 竹下愛実